

令和7年度 第4回 奥山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月13日（金） 13:00～15:45
- 2 開催場所 奥山小学校 4階会議室
- 3 出席委員 猿田 重雄、高田 直機、大澤 重義、西沢 晃久、峰野 政博
- 4 欠席委員 河村 壽子、仲田 伸吾
- 5 学 校 藤社 美波（校長）、太田 健太郎（教頭）、荒谷 朋子（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 荒谷 朋子
- 8 議長の選出

司会の教頭から本日の議長の選出について、前回協議通り西沢委員にお願いする旨確認し、全員異議無くこれを承認した。

9 協議事項

- (1) 学校関係者評価
- (2) 来年度の学校運営の基本方針説明と承認
- (3) 学校運営協議会の取組についての振り返り・自己評価

10 会議記録

司会から、委員総数7人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

また、会議に先立ち、前回会議録の確認をお願いした。

(1) 学校関係者評価

教頭から本年度の学校評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

【評価項目】

- ① 児童は、一生懸命授業に取り組んでいる。
- ② 児童は、自分の考えを発表したり、友達と話し合っって考えを深め合ったりしている。
- ③ 児童は、学習したことを生活に生かそうとしている。
- ④ 児童は、自分のよいところ（強み）をもち、将来の夢や希望に向かって頑張ろうとしている。
- ⑤ 児童は、友達のよいところ、頑張っていることを見付け、「みつけたよカード」に書いたり、発表したりしている。
- ⑥ 児童は、学級の子だけでなく、他の学年の子とも仲良く遊び、楽しい学校生活を送っている。
- ⑦ 児童は、「早寝・早起き」をし、「朝ご飯」を食べ、元気に生活している。
- ⑧ 児童は、安全に気を付けて生活している。
- ⑨ 児童は、目標をもって、縄跳びや持久走などに取り組んでいる。
- ⑩ 児童は、自分から進んで挨拶をしている。
- ⑪ 児童は、困ったことがあるときには、先生にすぐに相談している。
- ⑫ 児童は、地域の方と関わりながら学習し、奥山の良さを見付けようとしている。
- ⑬ 学校は、学校・学級便り、ホームページやブログ等で、校内の情報を発信している。

- ・ ⑨について保護者が100%を付けているのは素晴らしいと思った。①について教職員はもう少し厳しい目で見てもいいのでは？と思う。⑩について児童と保護者の割合が70%台と低いのはしょうがないとも思う。自分で悩むことも必要だと思う。ただし、教員は悩んでいることをわかっていないといけない。(大澤委員)
- ・ 保護者や教員ではない第3の相談の場、例えばみなくるなどがあっていいと思う。教員だけが窓口になることはないと思う。(峰野委員)
- ・ 児童は先生方にどんなことを相談してくるのか？(西沢委員)
- 友達関係等の今困っていることを言うてくる子もいれば、長期間困っていることを相談してくる子もいる。家でのけんかや習い事などについても話してくることはある。(教頭)
- 担任に言う前、朝の挨拶の時などに一度吐き出してみるということもある。先ほどお話しいただいた通り、悩んでいるのではないかなあ、という視点をもっと教員が持たないといけないと感じた。(校長)
- ・ 教員の評価が高いのは、規模や風土の関係があると思う。乖離が起こることはよくないが、非常に良い評価だと思う。高学年の困ったことを逃さないようにしないといけない。(猿田委員)
- 校内のアンケートで、相談できる人という項目に誰も上げられなかった子がいるので、そういった子への取りこぼしがないようにしないといけないと思う。(教頭)
- ・ 「幸せな気持ちになることがある」という点が低いことが気になる。(大澤委員)
- 『当てはまらない』とした子はつかんでいるが、考え方の癖もあるので、何か普段と違う様子がおきていないかということを見ている。(校長)
- ・ 6年生の学力は高いと思う。分母が小さいのもあるが、分母が小さい分、バランスよくできているということだと思う。(猿田委員)
- ・ 体力面は、歩いている子が少なくなったということも下がっている原因の一つだと思う。なわとびを継続していることは良いと思う。(大澤委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 来年度の学校運営の基本方針説明と承認

校長より、来年度の学校経営方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ グローカルとはどういう言葉か。おおきな夢とは何を指しているか。主体性を育てるということをどのようにとらえているか。小規模校だからこそ手をかけすぎてしまうことがあるので、まず自分たちの考えを聞くということがいると思う。(大澤委員)
- グローバルとローカルを掛け合わせた造語。語呂合わせの部分があって「おおきな」とつけてはいるが、夢が大きくなければいけないわけではない。子供たちが自分の生き方や将来について考えるキャリア教育を行っていく。主体性については、授業の中で子供たちに選択させる場面や、発言し、考えさせる場を作っていってもらいたいと考えている。(校長)
- ・ 浜松市や国の考え方で「多様な児童への対応」が盛んに言われる。賀川豊彦の著書の中に、「子供たちには叱られる権利がある」という言葉がある。できない子への対応は行っているが、できる子への対応がまだまだ進んでいない。学校側がやっていることをきちんと行政側が把握して熟議してほしい。(猿田委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の取組についての振り返り

各委員の自己評価に基づき、本年度の学校運営協議会自己評価をまとめた。(別紙参照)
各評価項目についておおむね「よくできた」「できた」の評価でよいことを確認いただき、
全員異議なくこれを承認した。

11 報 告

(1) 夢育やらまいかCS加算分の報告

教頭より夢育やらまいかCS加算分の報告を行った。

通学路からの要望書でグリーンベルトを引いてもらうなど行っている。峰野委員より自治会からの要望書という形でも出したいと思う、と言っていた。

来年度、交通安全モデル校に指定されたことも報告した。

(2) 学校支援コーディネーター活動

今年度のスケッターズの活動状況と来年度に向けての募集についてCSディレクターより報告をした。

12 そ の 他

(1) 今後の予定

①第1回運営協議会

日時 令和8年5月21日(木) 午後

内容 学校運営方針についての確認、いじめ対策の方針についての確認、
本年度の方向性についての検討

②第2回運営協議会

日時 令和8年6月30日(火) 午後

内容 授業参観、児童の実態について情報交換

③第3回運営協議会

日時 令和8年9月30日(水) 午後

内容 前半の取組を振り返り、後半の方向性を確認

④第4回運営協議会

日時 令和9年2月12日(金) 午後

内容 授業参観、学校関係者評価、次年度の学校運営方針説明、
本年度の振り返り・自己評価